

新幹線の車両点検作業員の暑熱対策に貢献

J R東海へ「手掌冷却用+12°C適温蓄冷材」を納入

シャープは、東海旅客鉄道株式会社（以下、J R東海）へ、「手掌冷却用+12°C適温蓄冷材」を納入しました。新幹線の車両点検作業における暑熱対策に活用されます。



J R東海における「手掌冷却用+12°C適温蓄冷材」使用シーン（イメージ）

本製品は、手のひら（手掌）に収まるサイズの蓄冷材です。活動の前後に蓄冷材を握ることで、手のひらを通る血液を冷やし、体を中から冷却します。一般的な保冷剤よりも高い温度（+12°C）を保持するので、握り続けても冷たさによる痛みを抑えられます（※1）。繰り返し使用でき、冷凍庫では2時間以上、氷水では1時間以上冷却することで凍結します（※2）。

J R東海は、昨年8月より本製品と同様の蓄冷材750個を現場で試験的に導入しています。また、J R東海と当社は本年1月から3月にかけて、車両点検作業を想定した環境下で、同蓄冷材の暑熱対策効果を検証しました。気温35°Cの模擬環境設備（シャープ柏事業所（千葉県）内）において、作業前や合間に同蓄冷材を手握る方法で実施し、効率的な身体冷却への有用性を確認しています。

J R東海は、試験導入および検証の結果を踏まえ、今般、本製品100個を導入しました。昨年導入した蓄冷材と合わせて計850個を活用し、各現場で「クーリングタイム」を設けるなど、暑熱対策の取り組みをさらに強化します。

シャープは今後も、暑熱対策ソリューションの提供を通じて、快適な労働環境づくりに貢献してまいります。

■ J R東海 担当者のコメント

シャープと共同で、暑熱環境下における身体冷却効果の検証を実施しました。新幹線車両の検査・修繕作業を想定した暑熱環境下で検証した結果、適温蓄冷材の使用により効率的に体を冷やせることが分かりました。適温蓄冷材は冷蔵庫で冷却できるため、各作業場に導入しやすく、繰り返し使用できることから現場での運用にも適しています。昨年の夏に実際に使用した社員からは好評の声があり、今夏も積極的な活用を推進していきます。

納入製品名	納入先	納入個数	納入時期
手掌冷却用+12°C適温蓄冷材 <TK-P12E2B>	J R東海 大阪台車検査車両所 (大阪府摂津市)	100個	2026年6月

※1 冷たさの感じ方には個人差があります。

※2 冷凍庫（-18°C以下）の場合。冷蔵庫（5°C以下）では9時間以上で凍結します。時間は目安です。

■ JR東海での車両点検作業（イメージ）



「適温蓄冷材」技術に関する情報は、以下のウェブサイトでもご覧いただけます。
<https://jp.sharp/tekion/explanation/>

<シャープについて>

シャープは、110年以上にわたり、エレクトロニクスを中心に、多くの世界初・業界初の革新的な製品や技術を開発してきました。経営信条「二意専心 誠意と創意」に基づき、コーポレートスローガン「ひとの願いの、半歩先。」を定め、人々の「暮らす」と「働く」のあらゆるシーンに寄り添う独創的なモノやサービスを通じ、「新しい文化」を創造する企業を目指しています。

-
- 【 ウェブサイト 】 <https://corporate.jp.sharp/>（画像ダウンロード <https://corporate.jp.sharp/press/>）
 - 【 本 社 】 〒541-8522 大阪府大阪市中央区久太郎町2丁目1番25号
 - 【 お問い合わせ先 】 法人のお客様：☎ 0120-099-233（<https://cgi.jp.sharp/business/contact/tekion/>）